ちょーこく
記 者 発 表

令和4年7月26日

本紙の投込みをもって解禁

記者発表資料配布先
・長岡市記者会
・長岡地域記者会
・魚沼記者会

国道17号　浦佐（うらさ）バイパス
開通後の交通状況と整備効果

令和3年12月11日に部分開通した国道17号浦佐バイパスの、開通6ヵ月後の交通状況と整備効果をお知らせします。今後も引き続き、調査・分析を行ない、お知らせして参ります。

【交通状況と整備効果】

①開通区間の交通量は、約4，700台/日となり、現道交通量が約3割(約3，700台)減少

②冬期交通の安全性・信頼性が向上

お問い合わせ先
国土交通省　北陸地方整備局　長岡国道事務所　計画課長　瀧澤（たきざわ）　秀則（ひでのり）
［電話］　0258-36-4582　　［FAX］　0258-34-3186

ふるさとの　ぬくもり伝える　道づくり

国土交通省　北陸地方整備局　長岡国道事務所
〒940-8512　新潟県長岡市中沢（なかざわ）4丁目430-1

携帯版　スマホ版

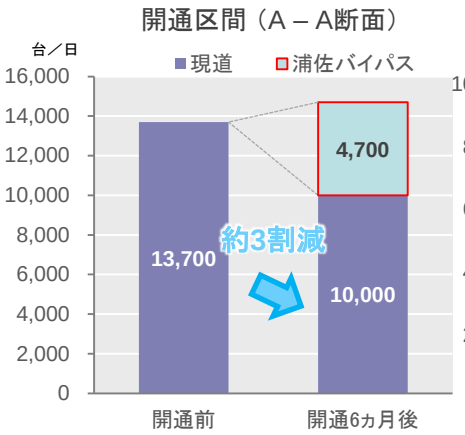
パソコン,スマートフォン　http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/
携帯電話　http://www.hrr.mlit.go.jp/chokoku/i/

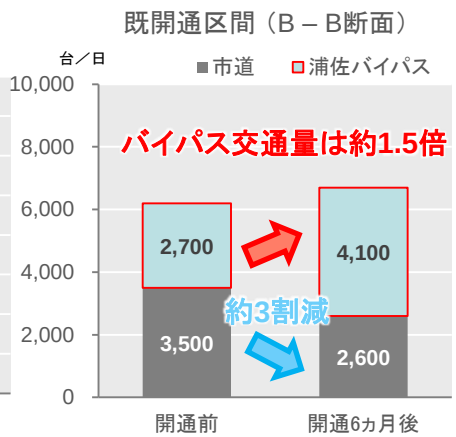
交通状況　開通区間の交通状況

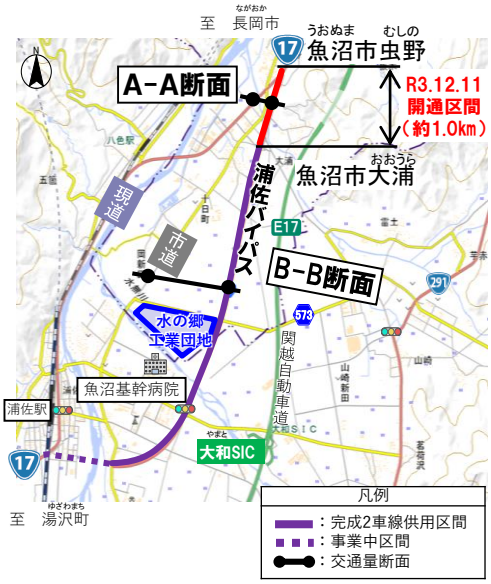
【浦佐（うらさ）バイパス・現道区間の交通量】

- 開通区間の交通量は、約4，700台/日となり、現道の交通量が約3割(約3，700台)減少しました。
- 既開通区間（B-B断面）は、並行する市道の交通量が約3割(約900台)減少し、バイパスの交通量が約1．5倍(約1，400台)増加しました。

【交通量の変化】







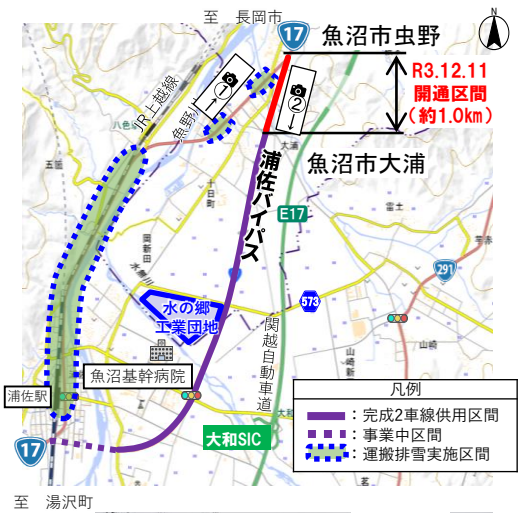
交通量調査日　開通前：令和3年12月8日、開通6ヵ月後：令和4年5月19日（いずれも平日）

整備効果　冬期交通の安全性・信頼性向上

- 現道区間には、雪を堆雪する十分な路肩を確保できない除雪困難区間が存在しています。
- 積雪時には、交通規制を伴う運搬排雪作業が必要であり、冬期交通の障害となっています。
- 十分な路肩を確保した浦佐バイパスの部分開通により、冬期交通の安全性・信頼性が向上するとともに、現道区間の運搬排雪作業に伴う交通渋滞が緩和されました。

堆雪により幅員が狭小な現道
［令和3年1月13日］

雪を堆雪する十分な路肩を
有する浦佐バイパス
［令和4年2月27日］



除雪業者の声

◆ 運搬排雪作業で現道区間を片側交互通行規制する際、車両の出入りなどスムーズに除雪作業が出来るようになりました。

◆ 特に、虫野交差点付近の排雪作業では、交通規制で待つ車は殆どいませんでした。

※除雪業者へのヒアリング結果（R4.5）

現道区間における運搬排雪作業状況
（令和4年1月）